

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成 24年 6月29日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 〒444-1323 愛知県高浜市田戸町1丁目5番地3 株式会社ジェイテクト 田戸岬工場	
氏名 工場長 神木 清純 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0566-53-3611	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 ジェイテクト 田戸岬工場
事業場の所在地	愛知県高浜市田戸町1丁目5番地3
計画期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額：34,638百万円
③従業員数	1051人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり 図1 自動車部品製造工程及び産業廃棄物発生工程フローシート 図2 廃水処理フローシート 図3 廃棄物処理フロー 図4 田戸岬工場 廃棄物置場配置図

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 推進責任者 . . . 廃棄物部会または工場環境保全委員会で審議された事項に基づき工場の廃棄物低減活動を統括する・ 部会長・事務局 . . . 廃棄物低減実績の確認・ 管理者・推進者 . . . 廃棄物低減活動の実施・推進 <p>添付資料 図5 田戸岬環境管理システム組織体系図 (廃棄物)</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 表1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 表1 産業廃棄物の排出抑制に関する事項		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラスチック、金属屑、ガラス・陶磁器屑、木屑はそれぞれに分類し保管している。また廃油・廃アルカリ・廃酸は発生時に処理委託している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックの中から更に再利用 (売却) できるように分別を推進する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属屑
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2491.8 t	39.1 t
	(これまでに実施した取組) コンプレッサーの廃熱を利用し、汚泥の脱水効率の向上を行なう		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属屑
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2466.8 t	38.7 t
	(今後実施する予定の取組) 取り代削減を行い 減量する金属屑をさらに増やし、更なる廃棄物の減量を計る		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙のとおり			
表2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度（平成23年度）実績】			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 表3 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【目標】		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

図1 自動車部品製造工程及び産業廃棄物発生工程フローシート

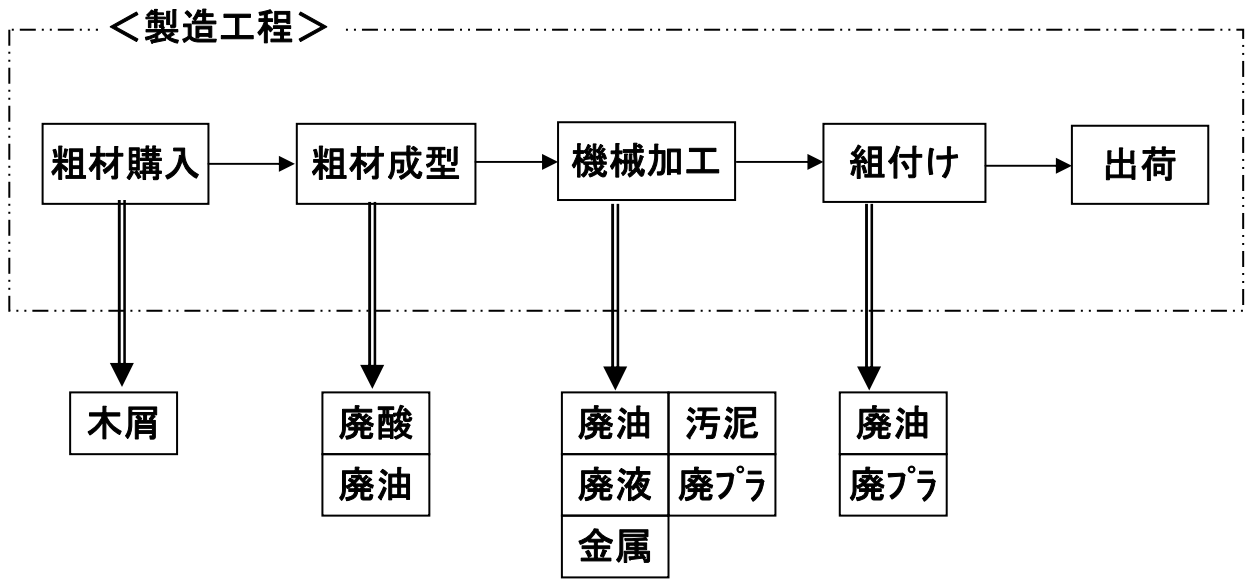


図2 排水処理フローシート

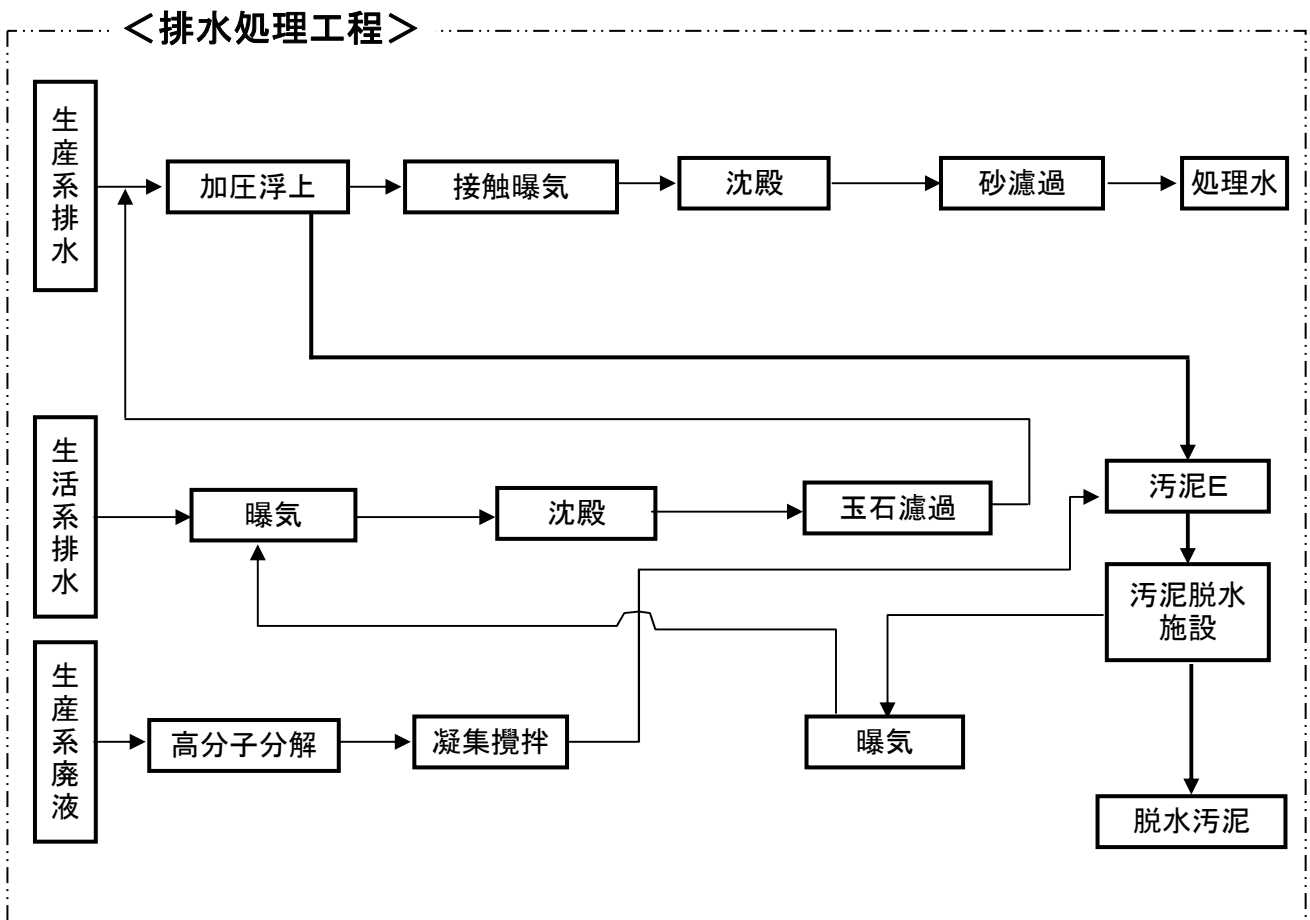


図3 廃棄物処理フロー図(産業廃棄物)

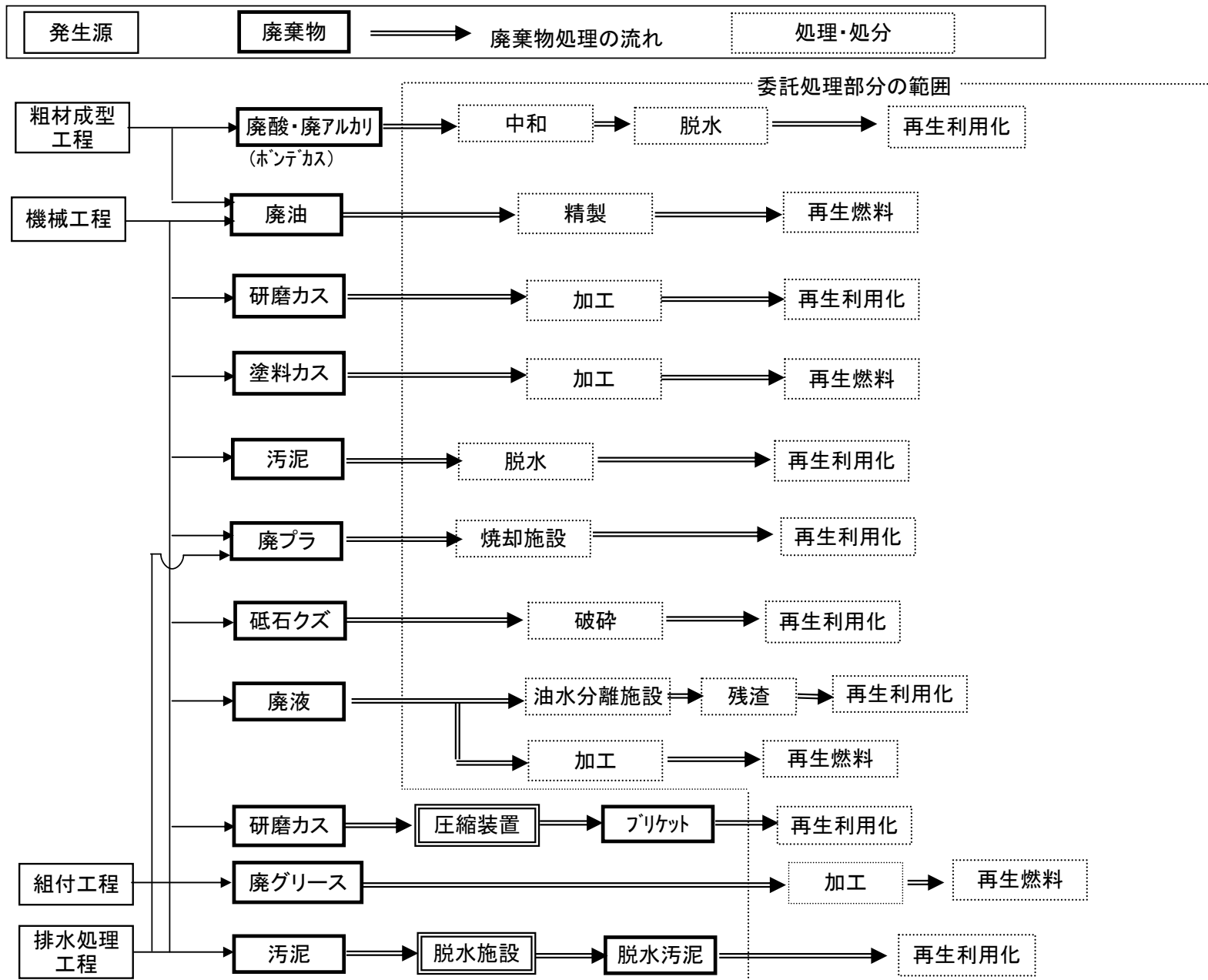


図4 田戸岬工場 廃棄物置場配置図

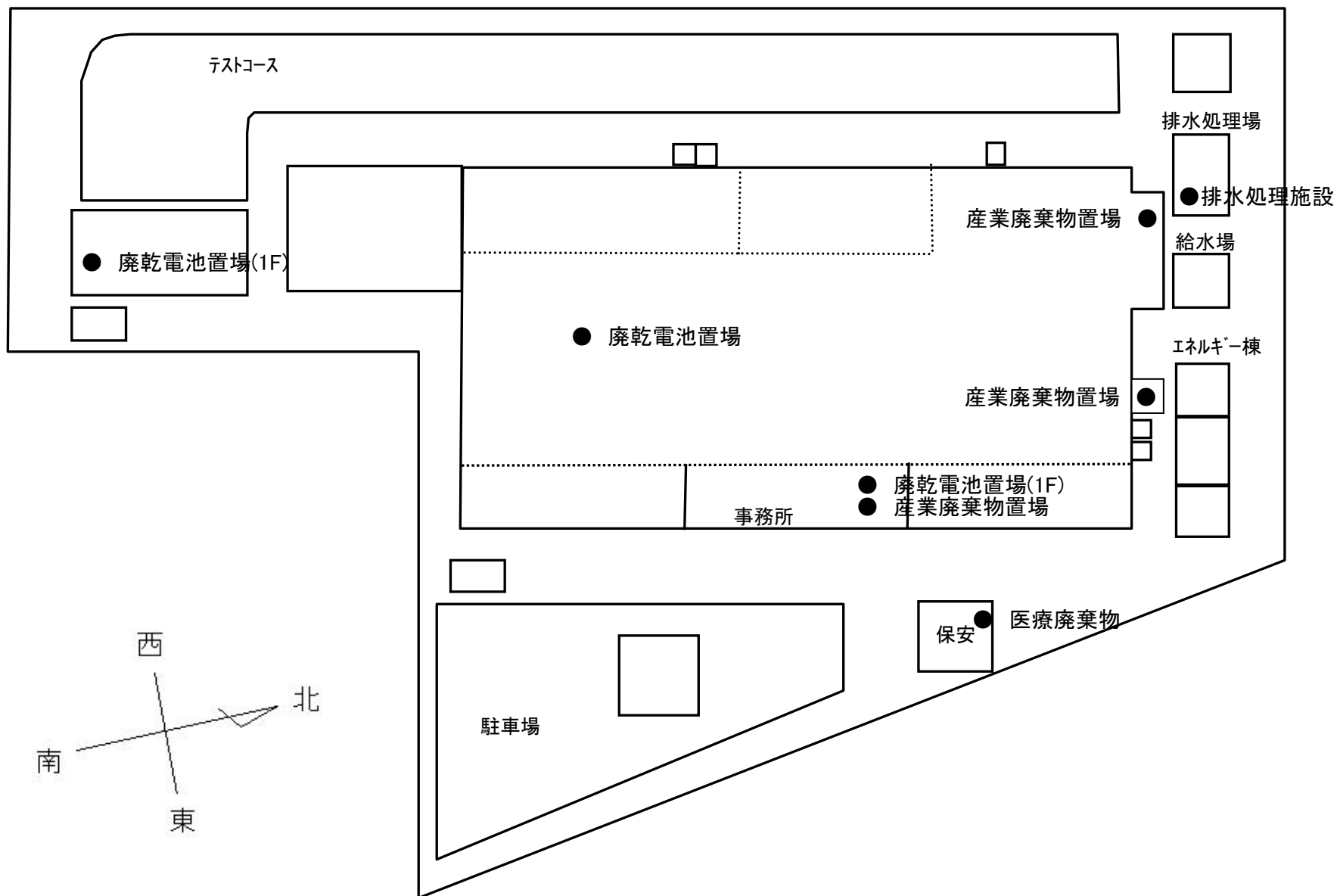


図5 田戸岬環境管理システム組織体系図（廃棄物）

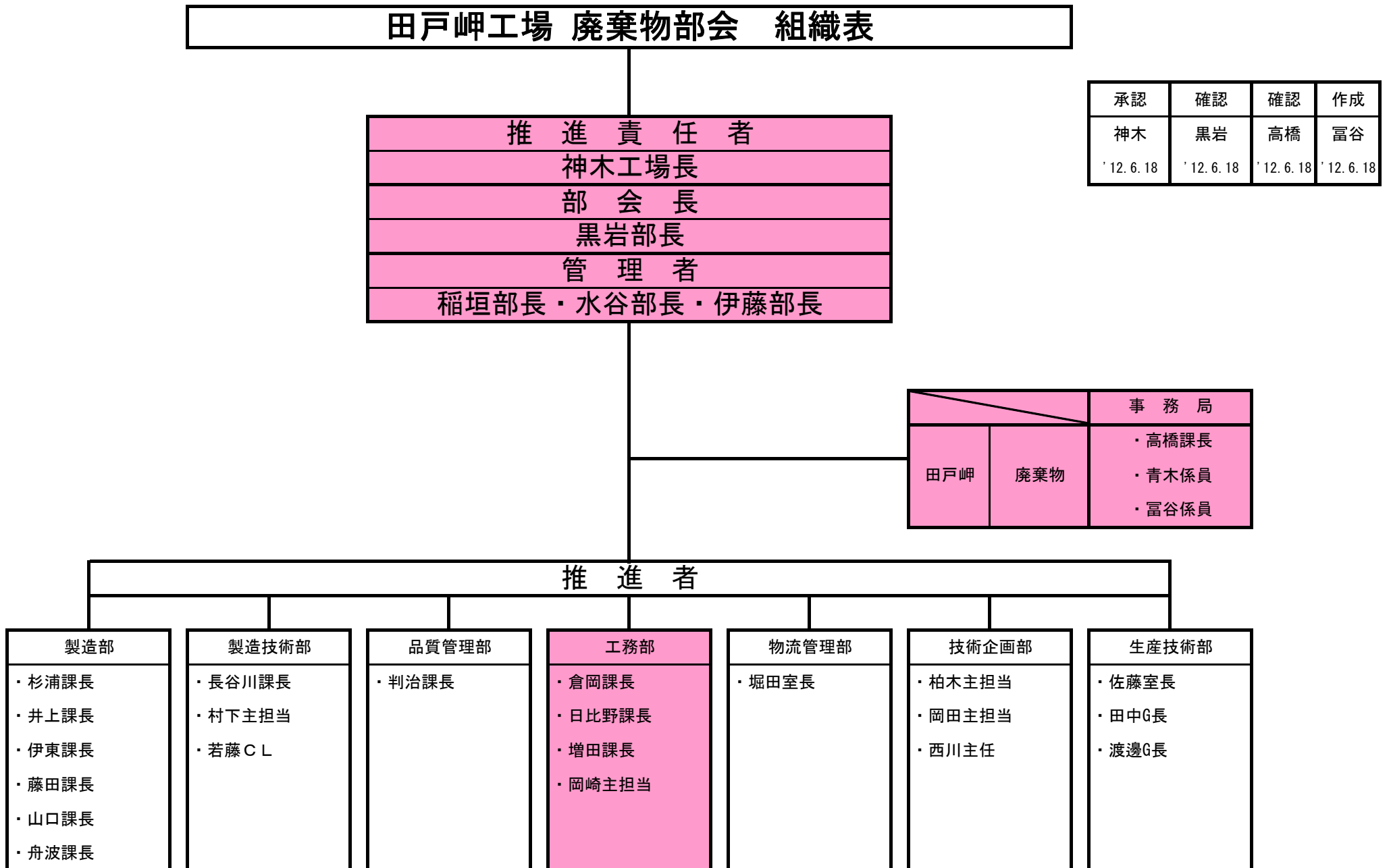


表1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（平成23年度）実績】			
	産業廃棄物の種類 排出量	廃油 67.3	汚泥 2995.3t	
	産業廃棄物の種類 排出量	廃プラ 75.6t	金属屑 211.4t	
	産業廃棄物の種類 排出量	ガラス・陶磁器屑 5.1 t	木屑 6.3 t	
	産業廃棄物の種類 排出量	廃アルカリ 1.3 t	廃酸 0 t	
	(これまでに実施した取組)			
	廃プラ中のポリプロピレンを分別し有価物量化することにより排出量の減量を図った。			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類 排出量	廃油 80.0t	汚泥 2965.3t
		産業廃棄物の種類 排出量	廃プラ 74.8t	金属屑 209.2t
産業廃棄物の種類 排出量		ガラス・陶磁器屑 5.0 t	木屑 6.2t	
産業廃棄物の種類 排出量		廃アルカリ 1.2t	廃酸 0 t	
(今後実施する予定の取組)				
低負荷ラインの寄せ停めによる平準化により、廃油、金属屑、ガラス・陶磁器屑の排出量削減に取り組む。				

表2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【前年度(平成23年度)実績】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
【前年度(平成23年度)実績】					
①現状	産業廃棄物の種類		廃油	汚泥	
	全処理委託量		67.3 t	503.5 t	
		優良認定処理業者への処理委託量		0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量		67.3	503.5 t
		認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック	金属屑	
	全処理委託量		75.5 t	116.1 t	
		優良認定処理業者への処理委託量		0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量		75.5 t	116.1 t
		認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		ガラス・陶磁器屑	木屑	
	全処理委託量		5.1 t	6.3 t	
		優良認定処理業者への処理委託量		0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量		5.1 t	6.3 t
		認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃アルカリ	廃酸	
	全処理委託量		1.3 t	0 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		0 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量		1.3 t	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)					
工場内で廃油(廃液)の減量化に取り組んできたが、23年度はさらに減量化する液種を増やし、前処理委託量の減量を図った。また、廃アルカリ・廃酸は排出工程廃止に伴い発生している。					

表3 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【目標】

【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類		廃油	汚泥
	全処理委託量		66.6t	498.4t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	66.6t	498.4t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック	金属屑
	全処理委託量		74.8t	114.9t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	74.8t	114.9t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		ガラス・陶磁器屑	木屑
	全処理委託量		5.0 t	6.2t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	5.0 t	6.2t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量		1.2t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	1.2t	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)				
汚泥の脱水効率を改善し、前処理委託量のさらなる減量を目指す。 また、廃プラスチック類をさらに分別し、有償物量化し、前処理委託量の減量を目指す。				